

◆第8分科会<健康安全>

(報告者: 志賀町 PTA 連合会会長 西村 秀樹)



【第8分科会会場】

- 会 場 ANA クラウンプラザホテル新潟
- 研究課題 「子どもたちの笑顔を、そして命を守るために」
～児童生徒の事件や事故への対応と未然防止に向けた取組～
- 基調講演 碓井 真史氏 (新潟青陵大学大学院教授)
「子どもたちの笑顔を、そして命を守るために」
～児童生徒の事件や事故への対応と未然防止に向けた取組～
- 実践発表 大宮 一真氏 (新潟市小中学校 PTA 連合会前会長)、本間 庸子氏 (新潟市小中学校 PTA 連合会副会長)、桑原 久満氏 (新潟市立巻東中学校 PTA 会長)
「新潟市小中学校 PTA 連合会 3 年間の取組」
- パネルディスカッション
- コーディネーター 佐藤 文俊氏 (新潟市教育委員会学校支援課元指導主事)
- パネラー 碓井 真史氏 (新潟青陵大学大学院教授)
大宮 一真氏 (新潟市小中学校 PTA 連合会前会長)
奈賀 綾子氏 (千葉県 PTA 連絡協議会副会長)
齋藤 植栄氏 (川崎市 PTA 連絡協議会元会長)

分科会に先立ち行われた歓迎アトラクションでは、「万代太鼓 和童」(小学生)、「宮浦中学校万代太鼓委員会」、「新潟万代太鼓 華龍」(大人)により、地域の伝統芸能である万代太鼓が、元気いっぱい披露されました。太鼓を通して、大人から子どもまで地域に貢献しているとのことでした。

碓井真史氏による基調講演では、過去に発生した、子どもたちが巻き込まれた事件や、子どもが引き起こした事件を通して、いつ同様な事件が発生するが分からない状況にあり、まずは、命を守ることが第一であるが、同時に子どもたちの笑顔を守ること大切であると主張されていました。

実践発表では、生徒の転落死亡事故を受けて、PTA がどう対応すれば良いかマニュアルを作成した事例と、SNS トラブル対策の実践報告がされましたが、マニュアルを作成して安心するのではなく、危機意識を常に持ち続けるような取り組みが大切であること、トラブル防止のために、親が子どものことを良く見ることや、学校と PTA の日頃からの連携の大切さを強調されていました。

最後のパネルディスカッションでは、PTA の立場から、家庭・学校・地域との連携について何ができるのか、どう連携するのか意見が交わされました。この中で、「皆で取り組む」、「過去のことを忘れない」ことがキーワードとしてあげられ、『一人でできないことは皆の力でやる。そのことで、一人でもできるようにしていくことが大切である。』とまとめられました。

今回の研修では、実際に重大事件・事故を経験した方々の話を聞き、どのように考え、行動したのか、生の声を聴くことができ、大変勉強になりました。今後、不幸な事件・事故が起こらないように、また、万一起こってしまった場合は、自分達に何ができるのか考えていきたいと思います。